

平成 30（2018）年度

八洲学園大学 生涯学習学部 生涯学習学科

# 募集要項・資格案内

－第 4 学期（1 月入学）用－

p.2-22

募集要項

p.24-33

資格案内



八洲学園大学



## 募集要項 (p.2-22)

ページ	目次
p.3	平成 30 (2018) 年度 募集定員・募集期間
p.4	出願から学習開始までの流れ
p.5-6	八洲学園大学について (アドミッションポリシーなど)
p.6-7	出願にあたっての確認・了承事項
p.8-9	出願資格 (大学卒業を希望する方)
p.10	出願資格 (資格取得や科目履修のみを希望する方)
p.11	出願資格 (大学入学資格を有しない方)
p.12-15	Web 出願書類の書き方
p.16	郵送で提出する証明書類
p.17-19	平成 30 (2018) 年度 学事予定
p.20-22	平成 30 (2018) 年度 開講予定科目一覧

### 資格案内 (p.24-33)

ページ	目次
p.25	図書館司書
p.26	学芸員
p.27	社会教育主事 (任用資格)
p.28	社会福祉主事 (任用資格)
p.29	学校図書館司書教諭
p.30-31	学校図書館専門職養成プログラム
p.32-33	その他の資格取得支援

### 出願に関するご相談・お問合せ先 (入学支援相談センター)

受付時間 平日 9:00-21:30・土日祝 9:00-17:00 ※受付時間を変更する場合があります

電 話 045-410-0515

メー ル u-info@yashima.ac.jp

所 在 地 〒220-0021 神奈川県横浜市西区桜木町 7-42 八洲学園大学 2 階

(各線 横浜駅徒歩 10 分・横浜市営地下鉄線 高島町駅徒歩 1 分・京浜急行本線 戸部駅徒歩 5 分)

# 平成 30（2018）年度 募集定員・募集期間

## 募集定員（第 1～4 学期合計）

正科生（1 年次入学）	正科生（編入学）	科目等履修生	特修生
800 名	400 名	若干名	若干名

## 第 1 学期（4 月入学）募集期間 ※終了しました

回	出願開始日	～	出願締切日	合格発表日
第 1 回	1 月 9 日（火） 11:00	～	1 月 29 日（月） 23:59	1 月 31 日（水）
第 2 回	1 月 30 日（火） 0:00	～	2 月 26 日（月） 23:59	2 月 28 日（水）
第 3 回	2 月 27 日（火） 0:00	～	3 月 26 日（月） 23:59	3 月 28 日（水）
第 4 回	3 月 27 日（火） 0:00	～	4 月 9 日（月） 23:59	4 月 11 日（水）
第 5 回	4 月 10 日（火） 0:00	～	4 月 23 日（月） 23:59	4 月 25 日（水）

履修登録は 3 月 5 日（月）開始予定です。第 3 回までの出願者は全科目が対象です（スクーリング科目には定員があり先着順で締め切られます）。また、授業は 4 月 7 日（土）開始予定です。第 4 回以降の出願者はテキスト科目と 5 月以降のスクーリング科目（定員超過科目を除く）が対象です。

## 第 2 学期（7 月入学）募集期間 ※終了しました

出願開始日	～	出願締切日	合格発表日
5 月 15 日（火） 11:00	～	6 月 11 日（月） 23:59	6 月 13 日（水）

テキスト科目（3 ヶ月コース）と 7 月以降のスクーリング科目（定員超過科目を除く）が対象です。

## 第 3 学期（10 月入学）募集期間 ※終了しました

回	出願開始日	～	出願締切日	合格発表日
第 1 回	7 月 3 日（火） 11:00	～	7 月 30 日（月） 23:59	8 月 1 日（水）
第 2 回	7 月 31 日（火） 0:00	～	8 月 27 日（月） 23:59	8 月 29 日（水）
第 3 回	8 月 28 日（火） 0:00	～	9 月 17 日（月・祝） 23:59	9 月 19 日（水）
第 4 回	10 月 5 日（金） 11:00	～	10 月 22 日（月） 23:59	10 月 24 日（水）

履修登録は 9 月 3 日（月）開始予定です。第 3 回までの出願者は全科目が対象です（スクーリング科目には定員があり先着順で締め切られます）。また、授業は 10 月 6 日（土）開始予定です。第 4 回以降の出願者は全テキスト科目と 11 月以降のスクーリング科目（定員超過科目を除く）が対象です。

## 第 4 学期（1 月入学）募集期間

出願開始日	～	出願締切日	合格発表日
11 月 13 日（火） 11:00	～	12 月 10 日（月） 23:59	12 月 12 日（水）

テキスト科目（3 ヶ月コース）と 1 月以降のスクーリング科目（定員超過科目を除く）が対象です。

## 出願から学習開始までの流れ

**出願** ④⑤の Web 出願は締切厳守です (p.3 参照)。⑥の証明書類の提出は遅れても受付できます。

①	<b>必要事項の確認</b>	アドミッションポリシーなど→ <a href="#">p.5-6</a> 出願にあたっての確認・了解事項→ <a href="#">p.6-7</a>
②	<b>出願区分の決定</b>	大学卒業を希望する方→ <a href="#">p.8-9</a> 資格取得や科目履修のみを希望する方→ <a href="#">p.10</a> 大学入学資格を有しない方→ <a href="#">p.11</a>
③	<b>ユーザ登録 (ID 取得)</b>	ユーザ登録 (ID 取得) 方法→ <a href="#">p.12</a>
④	<b>「入学志願書」提出 (Web)</b>	Web 出願書類の書き方→ <a href="#">p.12-14</a>
⑤	<b>「作文」「自己活動歴」提出 (Web)</b>	Web 出願書類の書き方→ <a href="#">p.15</a> 。
⑥	<b>証明書類の提出 (郵送)</b>	郵送で提出する証明書類→ <a href="#">p.16</a>

**合格発表** 合格発表日は p.3 でご確認ください。

⑦	<b>合否結果の確認 (Web)</b>	本学がお送りするメールに従い Web 上で確認 ※⑥が未完了の方は「仮合格」となります。
⑧	<b>「合格通知書」受領</b>	合格者には「合格通知書」を郵送

**入学手続き** 詳しくは合格発表後にメールでご案内します。オンラインの入学説明会も開催します。

⑨	<b>入学金 (登録料) 納入</b>	合格後 1 週間以内に 20,000 円を納入 (コンビニ/銀行振込)
⑩	<b>「入学許可証」受領</b>	正科生…「入学許可証」「学生証」を郵送 科目等履修生・特修生…「入学許可証」を郵送

**学習準備** ⑨が未完了の方も並行して進められます。詳しくは合格発表後にご案内します。

⑪	<b>履修登録 (Web)</b>	最初の半年間または 3 ヶ月間に履修する科目を登録
⑫	<b>学費納入</b>	履修科目の学費と学籍管理料を納入 (コンビニ/銀行振込)
⑬	<b>教科書購入</b>	履修科目の「シラバス」を見て個別に購入 ※本学では販売していません。

**学習開始!**

# 八洲学園大学について（アドミッションポリシーなど）

## 生涯学習学部の 目標

本学部は、生涯学習とその支援についての研究を行い、その成果を生かした教育を通して、生涯学習社会の実現に貢献しうる課題発見・解決能力、実践力を培い、その基盤となる豊かな人間性の育成を目標としています。

## 生涯学習学科の 目指す人材養成

本学科は、企業・行政・施設・各種ネットワークなどで人々の学習を支援したり新たな道を切り拓くべく専門的能力、それを支える人間力を培い、生涯学習支援を行う人材の養成を目指します。

## アドミッション ポリシー（入学 者受入れ方針）

八洲学園大学生涯学習学部生涯学習学科では次のような学生を求めています。生涯学習学部生涯学習学科では、本学の建学の精神、教育の理念、使命・目的に共感し、生涯学習社会の実現に貢献しうる様々な経歴を持つ学生を国内外から幅広く受け入れます。

- ・豊かな人間性と生涯学習についての幅広い識見を基礎学力の上に養い、専門的な知識・技術を習得して、生涯学習社会の実現のために貢献しようとする意欲のある方。
- ・生涯学習関係の国家資格（社会教育主事、図書館司書、学芸員、学校図書館司書教諭等）を取得し、生涯学習センター、公民館、図書館、博物館、学校等で専門性を生かして働こうとする方、学校支援等に関わって地域の教育に寄与しようとする意欲のある方。
- ・マネジメント力（創造力、問題解決力、コミュニケーション力等）を培い、企業等において、新たな道を切り拓こうとする意欲のある方。

## カリキュラムポ リシー（教育課 程の編成方針）

生涯学習学部生涯学習学科では、本学の建学の精神、教育の理念、使命・目的に基づき、生涯学習社会の実現に貢献しうる人材を育成するため、下記の方針に基づきカリキュラムを編成します。

### 1. 卒業時の到達目標

- ・生涯学習についての幅広い識見を身につけます。
- ・生涯学習社会の実現に貢献しうる課題発見・解決能力、実践力を身につけます。
- ・これらの基盤となる豊かな人間性を身につけます。

### 2. 自ら主体的に学ぶ学生に合ったカリキュラム編成

- (1) 科目区分は「基礎科目」と「専門科目」の2区分で構成し卒業要件を明確にします。
- (2) 「基礎科目」30単位以上、「専門科目」64単位以上の修得を卒業要件とすることにより、一つの領域に偏らない幅広い学習を可能とします。同時に、卒業要件の残り30単位は2区分から選択することにより自由度の高さを確保します。

### 3. 生涯学習を目的とした学生の多様な関心に応えるカリキュラム編成

- (1) 「基礎科目」は、学生が本学での学習を進めるにあたって、教養的・基礎的知識や基礎スキルを身につけることを目的とした科目により編成します。導入教育としての「初次セミナー」をはじめとするアカデミックスキルを身につける科目、及び、「専門科目」で学習する準備として、教養的・基礎的知識や基礎スキルを身につける科目があります。「専門科目」は、学生が「基礎科目」で学習した知識やスキルを土台に、本格的な専門知識やスキルを幅広くより深く学習することを目的とした科目により編成します。「専門科目」は、下記3つの系の科目を開設します。

## カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

①生涯学習支援系：生涯学習についての幅広い識見を養うため、生涯学習学、社会教育学、図書館情報学、博物館学に関する科目を開設します。同時に、必要な単位を修得することで、社会教育主事（任用）、図書館司書、学芸員の資格を取得できます。また、教員免許状取得等の条件を満たす方は学校図書館司書教諭の資格も取得できます。

②生涯マネジメント系：生涯学習社会の実現に貢献しうる課題発見・解決能力、実践力を養うため、法律・経済・経営・ビジネスに関する科目、及び、キャリア教育に関する科目を開設します。同時に、必要な単位を修得することで、税理士、簿記、行政書士等の資格取得にも役立ち、また、卒業後の進路を意識し自らのキャリアについて考え実現していく力を養います。

③人間力創造系：豊かな人間性を養うため、文学・言語・歴史、宗教・倫理・哲学、教育・家庭・健康などの多様な領域に関する科目を開設します。学生が自らの生涯にわたって教養を高め、人間力を培えるように、多様な領域を網羅します。

(2) 希望する学生を対象とした卒業論文関係科目を開設します。

## ディプロマポリシー（学位授与の方針）

生涯学習学部生涯学習学科では、次のような素養を身につけ、かつ正科生として所定の期間在学し、卒業に必要な単位を修得した者に、学士（学術）の学位を授与します。

- ・生涯学習についての幅広い識見
- ・生涯学習社会の実現に貢献しうる課題発見・解決能力、実践力
- ・これらの基盤となる豊かな人間性

## 個人情報の保護について

出願書類は入学選考と在籍書類作成にのみ用います。本学の個人情報保護方針はウェブサイトでご確認ください。

個人情報保護方針 URL：<https://www.yashima.ac.jp/univ/information/privacy.php>

## 出願にあたっての確認・了承事項

### 出願・入学手続きに関して

- (1) 入学志願書・作文は必ず志願者本人が入力・記載してください。何らかのご事情により代理の方が入力・記載した場合には必ずその旨を備考欄に明記してください。
- (2) 入学志願書、作文、提出書類は理由の如何に関わらず、提出済データの返却・消去はいたしません。
- (3) 出願書類・入学手続き書類に虚偽の内容が認められた場合には、合格・入学許可を取消すことがあります。
- (4) 入学金を所定の期日までに納入しない場合、入学を辞退したものとみなされます。延納を希望される場合には必ず事前にご相談ください。また、納入された入学金および履修登録後の学費は理由の如何に関わらず返還いたしません。
- (5) 入学を許可された場合は、本学の学則および各種規程を遵守していただきます。

### 本学での学習に関して

- (6) 本学での手続き及び本学からの連絡は原則としてインターネットを通じて行われます。
- (7) 1日1回を目安にeラーニング・システムにログインし大学からの情報を確認する必要があります。

## 本学での学習 に関して

- (8) インターネットによる学習が可能ですが、スクーリング履修科目は時間割が定められており、本学が指定する日時に受講することを原則とします。
- (9) インターネットによる学習で卒業資格を得ることはできませんが、全ての授業がインターネットで受講できるわけではありません。学芸員資格科目など、日本国内の機関での調査や実習が必要な科目もあります。
- (10) インターネットを通じて授業や試験を実施する関係上、本学が必要と認めた場合には電話・メール・WEBカメラ等による本人確認をする場合があります。
- (11) 本学での受講には文字・映像・音声による情報をご自身で理解いただく必要があります。点字・点訳、手話・ノートテイク、その他の介助等が必要は、各自でご用意ください。
- (12) 海外からの受講も可能ですが、授業はすべて日本語で実施されます。日本語能力についての予備教育はなく、翻訳などのサポートも実施しません。日本語が十分に理解できる必要があります。

## パソコン環境 に関して

- (13) 大学からのパソコン貸与はありませんので、各自でご用意ください。また、本学のシステムを正常にご利用いただくためには以下の条件が必要となります。この条件を満たしていない場合には動作が保障できません。

OS	Windows7、8、8.1、10
ブラウザ	Internet Explorer 最新版
通信環境	必要最低条件 : 0.5Mbps (500Kbps) 相当以上 推奨条件 : 1.5Mbps (1500Kbps) 相当以上

※WindowsOS、Internet Explorer (IE) 以外には対応していません。

※スマートフォンやタブレットでの受講はできません。

- (14) パソコンを活用して学ぶには以下のパソコン操作ができるスキルが必要ですのでご注意ください。(ご本人でなくても以下のスキルを持ちパソコン操作を補佐してくれる方がいれば学習は可能です。)
- ・パソコンを自分で起動・停止できる
  - ・インターネットブラウザで閲覧操作ができる
  - ・文書から他文書へコピーアンドペーストおよびドラッグアンドドロップで文字列を複写・移動できる。



## 出願資格（大学卒業を希望する方）

### 正科生（1年次入学）

最終学歴が高校卒業程度で本学卒業を目指す方の学生区分です。4～12年間で計124単位以上を修得します。

出願資格	
入学を希望する年の4月1日に満18歳に達し、かつ次の各号のいずれかに該当する方	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した方</li> <li>2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した方</li> <li>3. 外国において学校教育における12年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣が指定した方</li> <li>4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方</li> <li>5. 文部科学大臣の指定した方</li> <li>6. 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した方。または高等学校卒業程度認定試験に合格した方</li> <li>7. その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方</li> </ol>	

入学年次	卒業までの最短期間	在学できる最長期間	卒業要件単位数	取得できる学位
1年次	4年間	12年間	基礎科目 30単位 専門科目 64単位 自由選択科目 30単位 ※基礎科目または専門科目 合計 124単位（内スクーリング30単位以上）	学士 （学術）

## 正科生（学士取得編入学）

最終学歴が短期大学卒業等で本学卒業を目指す方の学生区分です。編入学年次と認定単位数は提出いただく証明書類に基づく個別審査にて決定します。

出願資格	編入学年次	認定単位数
入学を希望する年の4月1日に満18歳に達し、かつ次の各号のいずれかに該当する方		
1. 4年制大学を卒業した方 2. 4年制大学に3年以上在籍し74単位以上修得した方 3. 3年制短期大学を卒業した方 4. 専修学校の専門課程（修業年限が3年以上で当該課程の修了に必要な総授業時間が2,550時間以上の課程に限る）を修了し大学入学資格も有する方	3年次または4年次	最大90単位
5. 4年制大学に2年以上在籍し24単位以上修得した方 6. 2年制短期大学を卒業した方 7. 高等専門学校を卒業した方 8. 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で当該課程の修了に必要な総授業時間が1,700時間以上の課程に限る）を修了し大学入学資格も有する方 9. 旧国立工業教員養成所又は旧国立養護教諭養成所を卒業した方	3年次	最大60単位
10. 大学に1年以上2年未満在学し1単位以上修得した方	2年次	最大60単位

入学年次	卒業までの最短期間	在学できる最長期間	卒業要件単位数 (最大数の単位認定を受けた場合の例)	取得できる学位
2年次	3年間	9年間	基礎科目 10単位 専門科目 54単位 自由選択科目 0単位 合計 64単位 (内スクーリング18単位以上)	学士 (学術)
3年次	2年間	6年間	基礎科目 10単位 専門科目 54単位 自由選択科目 0単位 合計 64単位 (内スクーリング18単位以上)	
4年次	1年間	3年間	基礎科目 10単位 専門科目 24単位 自由選択科目 0単位 合計 34単位 (内スクーリング12単位以上)	

## 出願資格（資格取得や科目履修のみを希望する方）

本学で取得できる資格の学歴要件等は p.24-33 の資格案内をご覧ください。希望する資格の学歴要件を満たしている場合は、正科生（資格・リカレント編入学）または科目等履修生として入学し、最短期間での資格取得を目指せます。

### 正科生（資格・リカレント編入学）

教育訓練給付制度を利用しない方、他大学等に在籍中ではない方におすすめの学生区分です。卒業を目指す正科生と同じ支援等を受けられます（下記「正科生（資格・リカレント編入学）と科目等履修生の違い」参照）。

出願資格
正科生（学士取得編入学）と同じ（p.9 参照）。

### 科目等履修生

教育訓練給付制度を利用する方、他大学等に在籍中の方向けの学生区分です。

出願資格
正科生（1年次入学）と同じ（p.8 参照）。

### 正科生（資格・リカレント編入学）と科目等履修生の違い

どちらの区分でも最短期間で資格取得を目指せます。また、学費は履修する科目によって決まるため、学生区分による差はありません。

	正科生（資格・リカレント編入学）	科目等履修生
教育訓練給付制度	×	○
他の学校に在籍しながら履修	△ 本学は二重学籍を禁止していないが、在籍中の学校が二重学籍を禁止している場合は×	△ 他大学に科目等履修生として在籍することを認めるか在籍中の学校に確認
多数の科目の履修	○	○
本学卒業（学士取得）	○ 卒業要件を満たす必要あり（詳細問合せ）	×
キャリアコーディネーター室の利用	○	△ キャリアカウンセリング、インターンシップの支援は受けられない
学生証	○	×
学割証明書・通学証明書	○ スクーリング科目履修等の条件あり	×
日本学生支援機構の奨学金	○ 応募要件を満たす必要あり	×

## 出願資格（大学入学資格を有しない方）

### 特修生

最終学歴が中学卒業程度で本学への入学を希望する方の学生区分です。なお、特修生の課程を終了しても、高等学校卒業資格は取得できません。

出願資格
大学入学資格はないが本学が開設する授業科目を履修し得る能力があると認められる方で、特修生となることを希望する年の4月1日に満15歳に達している方（特修生規程に定める科目から16単位を修得し、入学を希望する年の4月1日に満18歳に達していれば、正科生（1年次入学）となる）

### 特修生規定に定める科目（平成30（2018）年度開講予定科目）

3年以内に8科目16単位を修得します（年度により科目が変更する場合があります）。

科目名	単 位	形 態	科目 区分	学費 (円)	履修開始時期	履修方法
生涯学習論1（生涯における学習設計）	2	T	基礎	12,000	4月・10月	8科目 16単位を 選択履修
図書館概論	2	T	基礎	12,000	4月・10月	
レポートの書き方入門	2	T	基礎	12,000	4月・10月	
生きる力もとの探求	2	T	基礎	12,000	4月・10月	
万葉と日本人のこころ	2	T	基礎	12,000	4月・10月	
学校教育と家庭教育の原理	2	T	専門	12,000	4月・10月	
ビジネス・スキル「折れない心とポジティブシンク」	2	S	基礎	25,000	4月・10月	
はじめて学ぶ心理学	2	S	基礎	25,000	4月・10月	
経済学入門	2	S	基礎	25,000	4月・10月	
テクノロジーの発達とヒューマニティ	2	S	基礎	25,000	4月・10月	
プレゼンテーション概説	2	S	専門	25,000	4月・10月	
人間論	2	T	基礎	12,000	7月	
情報アクセシビリティとバリアフリーデザイン	2	S	基礎	25,000	4月	
資源環境と人間	2	S	専門	25,000	4月	
家族と法	2	S	基礎	25,000	10月	
省エネルギー概論	2	S	専門	25,000	10月	
仏教教育論	2	T	基礎	12,000	1月	

# ユーザ登録（ID 取得）方法

本学ウェブサイト「出願受付」(https://www.yashima.ac.jp/univ/entrance/howto.php) から登録します。



※ユーザ登録（ID 取得）後の自動メールが届かない場合は入学支援相談センターまでご連絡ください。

# Web 出願書類の書き方

## 入学志願書

ページごとに「一時保存」し「次へ」で進み、全4ページの入力後、「確認」し「提出」します。

### 1 ページ目

※は必須項目です

■志望学部

生涯学習 学部 生涯学習学科

■入学希望 ※ [ご希望の入学形態を選んでください]

①

■入学期

2017年秋期 第3学期(10月入学)

■氏名 (漢字) ※ (例) 山田 太郎

姓  名  ②

■氏名 (フリガナ) [(例) ヤマダ タロウ]

姓  名  ③

■性別 ※

男  女 ④

■生年月日

西暦 年 月 日 ⑤

■本籍 ※ [外国籍の方は下のテキストボックスに外国籍を記入してください]

外国籍の方 ⑥

◆入力中、長時間サーバとのやり取りが行われないと、正常に送信や保存ができない場合があります。  
(一時保存では送信されませんので、こまめに(10分間隔程度)保存される事をお勧めします)

①入学希望【必須】

プルダウンで選択

正科生（1年次入学）  
正科生（学士取得編入学）  
正科生（資格・リカレント編入学）  
科目等履修生  
特修生

②氏名（漢字）【必須】

姓・名を漢字で入力

③氏名（フリガナ）【必須】

姓・名をカタカナで入力

④性別【必須】

男または女を選択

⑤生年月日【必須】

西暦・月・日をプルダウンで選択

⑥本籍【必須】

プルダウンで選択  
(外国籍の方は国名を入力)

■現住所（漢字）※数字は半角で入力してください

〒  -  7 都道府県 住所 ビル・アパート

選択してください

■現住所（フリガナ）※数字は半角で入力してください

住所 ビル・アパート

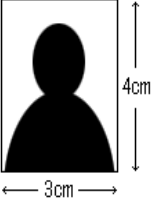
■連絡先

自宅  呼出 (  方 ) 9

電話番号 ※携帯電話番号のみをお持ちの場合はここにご記入ください

携帯電話番号

■写真添付 [下記の指定サイズにあわせたものを添付または郵送でお送りください] 郵送の場合は、正式受け付け時に提出する書類がございますのでそ

 4cm  
3cm

10

証明写真をパスポート用のサイズ(タテ4cm×ヨコ3cm)で撮影して300dpiでスキャンしたもののみを受け付けます。  
添付をするには下にある添付ボタンを押して開いたウィンドウから添付してください。  
◆写真は、本学での本人認証のほか、学生証(科目等履修生、特修生は登録証)にも使用します。  
◆正面向き、上半身、無帽、無背景、顔と肩を隠していないもの、顔が正面を向いているものを撮影してください。裏面には氏名を記載してください。  
写真添付

■最終学歴 ※  11

■学 歴 [1年次入学者は、中学卒業以降すべての学歴を入学・卒業の順にご記入ください。] [編入学・科目等履修生志願者は、高校卒業以降すべての学歴を入学・卒業の順にご記入。専門学校等は学部・学科・専攻名も明記して下さい。]

◆学歴欄がエラーになる場合は、以下をお試しください。ご不明な場合は、入学支援相談センターまでお問合せください。  
①「保存して終了」で一度画面を閉じる  
②Internet Explorerの「互換表示」をする  
③再度出願画面を開き、学歴の年・月・項目の空欄を全て「1」で埋める  
▼【入学手続き】願書画面でのエラーについてはこちら  
[http://h.bs.study.jp/yxujimu/2018/12/post\\_248.html](http://h.bs.study.jp/yxujimu/2018/12/post_248.html)

12

年 -  月

年 -  月

年 -  月

年 -  月

年 -  月

年 -  月

年 -  月

年 -  月

年 -  月

年 -  月

12 年は西暦で入力  
月はプルダウンで選択  
右側の枠に学校名を入力  
(高等学校卒業から入力)

大学入試資格検定合格の方 [大学入試資格検定合格者・高校卒業程度認定試験合格者の方は左のチェックボックスにチェックを入れて検定番号または証書番号を記入してください]

検定番号または証書番号

◆入力中、長時間サーバとのやり取りが行われないと、正常に送信や保存ができない場合があります。  
(一時保存では送信されませんので、こまめに(10分間隔程度)保存される事をお勧めします)

7 現住所（漢字）【必須】  
郵便番号・住所を入力  
(英数字は半角で入力)

8 現住所（フリガナ）【必須】  
現住所をカタカナで入力

9 連絡先【必須】  
電話番号・携帯電話番号を入力  
(電話番号のみでも可)

10 写真貼付  
「写真添付」をクリックしデータを貼付 (郵送で提出する場合は不要)

11 最終学歴【必須】  
プルダウンで選択

12 学歴【必須】  
年は西暦で入力  
月はプルダウンで選択  
右側の枠に学校名を入力  
(高等学校卒業から入力)

### 3 ページ目

■緊急連絡先 ※ [緊急連絡をする場合の連絡先を一つ以上記入してください]

優先順位  番  
 自宅  呼出 (  方) **13**  
 電話番号

■職業 ※  **14**

■勤務先 [お勤めの方はこちらを記入してください] **15**

名称  部課名等

■備考  
 ・科目等履修生で、教育訓練給付制度の利用をお考えの方は、「教育訓練給付制度利用希望」と入力してください。  
 ▼教育訓練給付制度についてはこちら  
<http://www.yashima.ac.jp/univ/kyufu/>  
 ・シニア割引の利用をお考えの方は、「シニアコース希望」もしくは「プラチナコース希望」と入力してください。  
 ▼シニア割引についてはこちら  
<http://www.yashima.ac.jp/univ/senior/>

**16**

◀ 戻る    保存して終了    一時保存    次 ▶

◆入力中、長時間サーバとのやり取りが行われないと、正常に送信や保存ができない場合があります。  
 (一時保存では送信されませんので、こまめに(10分間隔程度)保存される事をお勧めします)

**13 緊急連絡先【必須】**  
優先順位をプルダウンで選択  
電話番号を入力

**14 職業【必須】**  
プルダウンで選択

**15 勤務先**  
名称・部課名等を入力

**16 備考**  
「教育訓練給付制度利用希望」  
「シニアコース希望」等を入力

### 4 ページ目

■将来の目的・目指す資格

**17**

■家族状況 **18**

続柄	氏名	年齢	生年月日
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 年 <input type="button" value="▼"/> 月 <input type="button" value="▼"/> 日
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 年 <input type="button" value="▼"/> 月 <input type="button" value="▼"/> 日
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 年 <input type="button" value="▼"/> 月 <input type="button" value="▼"/> 日
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 年 <input type="button" value="▼"/> 月 <input type="button" value="▼"/> 日

◀ 戻る    保存して終了    一時保存    確認


◆入力中、長時間サーバとのやり取りが行われないと、正常に送信や保存ができない場合があります。  
 (一時保存では送信されませんので、こまめに(10分間隔程度)保存される事をお勧めします)

**17 将来の目的・目指す資格**  
「司書」等を入力

**18 家族状況**  
続柄・氏名を入力  
年齢・生年月日をプルダウンで選択

## 作文

「八洲学園大学で何を学び、それをどう生かしたいか」について、**400～800 字程度**で入力してください。字数が著しく少ない場合等、再提出を求められることがあります。

 **作文提出** ✕ 終了

◆入力中、長時間キーボードのやり取りが行われないと、正常に保存ができない場合があります。定期的に保存ボタンを押して、入力内容を保存してください。  
(10分間隔程度で保存される事をお勧めします)


科目名   
課題名

課題   
「八洲学園大学で何を学び、それをどう生かしたいか」について記入してください。  
また、各自希望する希望される方はできるかぎり、以下の点を記入してください。  
・入学の目的(資格取得を含む)  
・履修を希望する科目名、履修を希望する期間などの具体的な学習計画

テキスト形式で提出  保存 提出

## 自己活動歴

入学志願書に記入した学歴以外の学習歴、仕事歴等を **2 件以上**入力してください。(最大 5 件) 1 件のみの場合は追加提出を求められることがあります。

 **自己活動歴** ✕ 終了

自己活動歴

<記入要領>  
1 願書の学歴に記載した学校歴以外の学習歴や仕事歴、ボランティア活動・スポーツ・芸術・趣味などの活動歴などのうち、主なものを2件以上記入してください。  
2 「学習・活動した年」が断続的であれば、そのことがわかるようにしてください。  
3 「学習・活動の名称」で正式名称がわからない場合には、略称でもかまいません。  
4 「内容の概略」は、その学習や活動がどのようなものかがわかるように書いてください。わかりにくい場合にはお尋ねすることがあります。

活動した年(西暦)  年 ~  年

活動の名称

内容の概略



## 郵送で提出する証明書類

最終学歴に応じた証明書類（原本）を郵送または窓口で提出してください（コピー不可）。なお、厳封の必要はありません。また、写真を願書に添付せず郵送で提出する場合は、証明書類と合わせてご郵送ください。

入学時点の最終学歴	郵送で提出する証明書類
高等学校卒業	卒業証明書 ※願書等の内容により成績証明書の提出を求める場合がある。
大学卒業 短期大学卒業 高等専門学校卒業 専修学校専門課程卒業	①卒業証明書、②成績証明書 ※単位認定を希望しない正科生（資格・リカレント編入学）、科目等履修生は①のみ。
大学院修了	①大学（学部）の卒業証明書、②大学（学部）の成績証明書 ※大学院の証明書は不可。単位認定を希望しない正科生（資格・リカレント編入学）、科目等履修生は①のみ。
大学中退	①高等学校の卒業証明書、②中退した大学の成績証明書
短期大学中退 高等専門学校中退 専修学校専門課程中退	高等学校の卒業証明書
大学入学資格検定合格 高等学校卒業程度認定試験合格	①合格証明書、②合格成績証明書
中学校卒業	住民票（外国籍の方は住民票に準ずるもの） ※マイナンバー記載なしのもの。

※卒業証明書や成績証明書の姓と現在の姓が異なる場合は、戸籍の個人事項証明書（戸籍抄本）を添付してください。

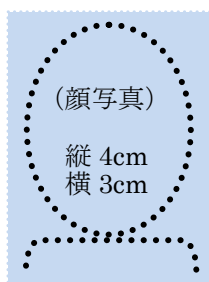
※成績証明書は科目ごとの修得単位数が明記されたものを提出してください。

※専修学校の専門課程は、修業年限が2年以上で、当該課程の修了に必要な総授業時間が1,700時間以上の課程に限ります（専門士の称号が付与される課程に限ります）。

※外国の学校の証明書は、日本語または英語の証明書を提出してください。（他言語は不可）

※上記以外の最終学歴で出願資格を満たしている方は入学支援相談センターまでお問い合わせください。

※写真は下記条件に合ったものを1枚提出してください。（願書に添付する場合は郵送不要）



- ・正面向き、上半身、無帽、無背景、目元輪郭を隠していないもの
- ・最近3ヶ月以内に撮影したもの
- ・縦4cm×横3cmのカラー写真
- ・裏面に氏名を記載

# 平成 30 (2018) 年度 学事予定

詳しくは本学ウェブサイトにて学事予定表や時間割をご覧ください。また、科目ごとの詳しい予定は「シラバス」をご覧ください。

## テキスト履修

### ○半年コース

春期は第 1 学期 (4 月)、秋期は第 3 学期 (10 月) 入学の方のみ履修できます。

学事予定	春期 (第 1・2 学期)	秋期 (第 3・4 学期)
履修登録開始	3 月 5 日 (月)	9 月 3 日 (月)
履修登録締切	5 月 4 日 (金)	11 月 2 日 (金)
第 1 回課題提出期間	5 月 15 日 (火) ~ 5 月 31 日 (木)	11 月 15 日 (木) ~ 11 月 30 日 (金)
第 2 回課題提出期間	6 月 15 日 (金) ~ 6 月 30 日 (土)	12 月 17 日 (月) ~ 1 月 6 日 (日)
科目修得試験レポート提出期間	7 月 23 日 (月) ~ 8 月 10 日 (金)	1 月 23 日 (水) ~ 2 月 11 日 (月)
成績発表	8 月 31 日 (金)	3 月 1 日 (金)

### ○3 ヶ月コース

学事予定	春期 (第 2 学期)	秋期 (第 4 学期)
履修登録開始	3 月 5 日 (月)	9 月 3 日 (月)
履修登録締切	6 月 29 日 (金)	1 月 4 日 (金)
第 1・2 回課題提出期間	7 月 9 日 (月) ~ 8 月 10 日 (金)	1 月 8 日 (火) ~ 2 月 8 日 (金)
科目修得試験レポート提出期間	8 月 24 日 (金) ~ 9 月 7 日 (金)	2 月 22 日 (金) ~ 3 月 8 日 (金)
成績発表	9 月 19 日 (水)	3 月 20 日 (水)

## スクーリング履修

### ○平日・半年コース

春期は第 1 学期 (4 月)、秋期は第 3 学期 (10 月) 入学の方のみ履修できます。

学事予定	春期 (第 1・2 学期)	秋期 (第 3・4 学期)
履修登録開始	3 月 5 日 (月)	9 月 3 日 (月)
履修登録締切	4 月 6 日 (金)	10 月 5 日 (金)
授業開始	4 月 9 日 (月) ~ 4 月 13 日 (金)	10 月 8 日 (月) ~ 10 月 12 日 (金)
最終試験レポート提出期間	7 月 23 日 (月) ~ 8 月 10 日 (金)	1 月 23 日 (水) ~ 2 月 11 日 (月)
成績発表	8 月 31 日 (金)	3 月 1 日 (金)

○平日・3ヶ月コース（第1学期／第3学期）

春期は第1学期（4月）、秋期は第3学期（10月）入学の方のみ履修できます。

学事予定	春期（第1学期）	秋期（第3学期）
履修登録開始	3月5日（月）	9月3日（月）
履修登録締切	4月6日（金）	10月5日（金）
授業開始	4月9日（月）～4月13日（金）	10月8日（月）～10月12日（金）
最終試験レポート提出期間	各授業終了後～約2週間	各授業終了後～約2週間
成績発表	6月28日（木）	12月20日（木）

○平日・3ヶ月コース（第2学期／第4学期）

学事予定	春期（第2学期）	秋期（第4学期）
履修登録開始	3月5日（月）	9月3日（月）
履修登録締切	6月29日（金）	1月4日（金）
授業開始	7月2日（月）～7月6日（金）	1月7日（月）～1月11日（金）
最終試験レポート提出期間	各授業終了後～約2週間	各授業終了後～約2週間
成績発表	9月19日（水）	3月20日（水）

○週末（第1学期／第3学期）

春期は第1学期（4月）、秋期は第3学期（10月）入学の方のみ履修できます。

学事予定	春期（第1学期）	秋期（第3学期）
履修登録開始	3月5日（月）	9月3日（月）
履修登録締切	各開講2週間前	各開講2週間前
土日1期	4月7,8,14,15日（土・日）	10月6,7,13,14日（土・日）
土日2期	4月21,22,28,29日（土・日）	10月20,21,27,28日（土・日）
土曜1期	4月7,14,21,28日（土）	10月6,13,20,27日（土）
日曜1期	4月8,15,22,29日（日）	10月7,14,21,28日（日）
土日3期	5月5,6,12,13日（土・日）	11月3,4,10,11日（土・日）
土日4期	5月19,20,26,27日（土・日）	11月17,18,24,25日（土・日）
土曜2期	5月5,12,19,26日（土）	11月3,10,17,24日（土）
日曜2期	5月6,13,20,27日（日）	11月4,11,18,25日（日）
最終試験レポート提出期間	各授業終了後～約2週間	各授業終了後～約2週間
成績発表	6月28日（木）	12月20日（木）

○週末（第2学期／第4学期）

学事予定	春期（第2学期）	秋期（第4学期）
履修登録開始	3月5日（月）	9月3日（月）
履修登録締切	各開講2週間前	各開講2週間前
土日5期	6月2,3,9,10日（土・日）	12月1,2,8,9日（土・日）
土日6期	6月16,17,23,24日（土・日）	12月15,16,22,23日（土・日）
土曜3期	6月2,9,16,23日（土）	12月1,8,15,22日（土）
日曜3期	6月3,10,17,24日（日）	12月2,9,16,23日（日）
土日7期	6月30,7月1,7,8日（土・日）	1月12,13,19,20日（土・日）
土日8期	7月14,15,21,22日（土・日）	—
土曜4期	6月30,7月7,14,21日（土）	—
日曜4期	7月1,8,15,22日（日）	—
最終試験レポート提出期間	各授業終了後～約2週間	各授業終了後～約2週間
成績発表	8月31日（金）	3月1日（金）

○夏期（第2学期）／冬期（第4学期）

学事予定	春期（第2学期）	秋期（第4学期）
履修登録開始	3月5日（月）	9月3日（月）
履修登録締切	各開講2週間前	各開講2週間前
1期	8月13日（月）～8月15日（水）	2月13日（水）～2月15日（金）
2期	8月17日（金）～8月19日（日）	2月16日（土）～2月18日（月）
3期	8月21日（火）～8月23日（木）	2月20日（水）～2月22日（金）
4期	8月25日（土）～8月27日（月）	2月23日（土）～2月25日（月）
最終試験レポート提出期間	各授業終了後～約1週間	各授業終了後～約1週間
成績発表	9月19日（水）	3月20日（水）

# 平成 30 (2018) 年度開講予定科目一覧

## 基礎科目

授 業 科 目	単 位	形 態	学 費
初年次セミナー	1	S	10,000
レポートの書き方入門	2	T	12,000
生涯学習論 1 (生涯における学習設計)	2	T	12,000
生涯学習論 2 (生涯学習の支援・推進)	2	T	12,000
生涯学習の方法	2	T	12,000
社会教育施設と事業	2	T	12,000
「学び」と「教え」のこれまでとこれから	2	T	12,000
図書館概論	2	T	12,000
図書・図書館史	1	T	6,000
学校教育概論 (教育原理・教職論)	2	S	25,000
学校教育概論 (教育心理)	1	S	12,500
学校教育概論 (教育課程)	1	S	12,500
経済学入門	2	S	25,000
ビジネス・スキル「折れない心とポジティブ・シンキング」	2	S	25,000
ビジネス・スキル「自分を受け入れる力」	2	S	25,000

授 業 科 目	単 位	形 態	学 費
法学概論	2	S	25,000
家族と法	2	S	25,000
日本国憲法と現代社会	2	S	25,000
テクノロジーの発達とヒューマニティ	2	S	25,000
万葉と日本人のこころ	2	T	12,000
人間論	2	T	12,000
仏教教育論	2	T	12,000
禅学研究 I	1	T	6,000
禅学研究 II	1	T	6,000
情報アクセシビリティとバリアフリーデザイン	2	S	25,000
障害児の理解と支援	2	S	25,000
生きる力のもとの探求	2	T	12,000
心豊かに語り合える親子コミュニケーション	2	T	12,000
はじめて学ぶ心理学	2	S	25,000

## 専門科目

授 業 科 目	単 位	形 態	学 費
地域学習支援情報の収集・提供	1	T	6,000
学習成果の活用と地域学習支援情報の提供	1	T	6,000
変わり続ける社会と学習の支援	2	T	12,000
読み聞かせと生涯学習	2	S	25,000
学校、家庭、地域の連携協力論	2	T	12,000
社会教育計画 1	2	T	12,000
社会教育計画 2	2	T	12,000
社会教育課題研究 1	2	T	12,000
社会教育課題研究 2	2	T	12,000
社会教育学研究法 (演習)	2	S	25,000
社会教育学新構想 (演習)	2	S	25,000
図書館制度・経営論	2	T	12,000
図書館情報技術論	2	T	12,000
図書館サービス概論	2	T	12,000
情報サービス論	2	T	12,000
児童サービス論 (T)	2	T	12,000
児童サービス論 (S)	2	S	25,000
児童資料特論	2	T	12,000

授 業 科 目	単 位	形 態	学 費
情報サービス演習 1	2	S	25,000
情報サービス演習 2	2	S	25,000
図書館情報資源概論	2	T	12,000
情報資源組織論	2	T	12,000
情報資源組織演習 1	2	S	25,000
情報資源組織演習 2	2	S	25,000
図書館サービス特論	2	T	12,000
学校経営と学校図書館 (T)	2	T	12,000
学校経営と学校図書館 (S)	2	S	25,000
学校図書館メディアの構成	2	T	12,000
学習指導と学校図書館	2	T	12,000
読書教育特論	2	T	12,000
読書と豊かな人間性	2	T	12,000
情報メディアの活用	2	T	12,000
博物館経営論	2	S	25,000
博物館資料論	2	T	12,000
博物館資料保存論	2	T	12,000
博物館展示論	2	T	12,000

博物館教育論	2	T	12,000
博物館概論	2	T	12,000
博物館情報・メディア論	2	T	12,000
博物館実習	3	RS	37,500
博物館学特論	2	S	25,000
バーチャル博物館の旅	1	T	6,000
財政学入門	2	S	25,000
地方財政入門	2	T	12,000
金融・投資・資産運用	2	T	12,000
簿記と経営	2	T	12,000
原価計算入門	2	T	12,000
経理実務入門	2	T	12,000
企業倫理	2	T	12,000
ビジネス・リーダーシップ論	2	T	12,000
CSR と経営戦略	2	T	12,000
ビジネス文書作成・読解	2	S	25,000
知的資産マネジメント	2	T	12,000
コンプライアンス概論	2	S	25,000
顧客サービス・マネジメント	2	T	12,000
生産管理	2	T	12,000
はじめての簿記	1	S	12,500
社会保険労務（入門）	2	T	12,000
社会保険労務（実務）	2	T	12,000
顧客ロイヤリティ・マネジメント	2	T	12,000
組織行動論	2	T	12,000
モノづくりと問題解決	2	S	25,000
社長に学ぶ組織論	2	S	25,000
産業・組織心理学	2	T	12,000
労働法	2	T	12,000
行政法	2	T	12,000
商法	2	T	12,000
ケーススタディ著作権法	2	S	25,000
パラリーガル（法律事務職員）の実務～入門編～	2	S	25,000
法人税法入門	2	T	12,000
所得税法入門	2	T	12,000
消費税法	2	T	12,000
相続税法	2	T	12,000
論理的思考 1（数学的思考と発想）	2	S	25,000
速読の理解と実践	2	S	25,000
プレゼンテーション概説	2	S	25,000
マインドマップを使った効率的な学習ノート作成	2	S	25,000
思考と学習に役立つ読書技術	2	T	12,000
世界に通じる日本語コミュニケーション	2	S	25,000

消費生活と法	2	S	25,000
民法 1（総則・物権）	2	S	25,000
民法 2（債権法）	2	S	25,000
著作権法	2	T	12,000
情報と法	2	S	25,000
犯罪と法	2	S	25,000
福祉と法	2	T	12,000
犯罪と心理	2	S	25,000
法社会学	2	S	25,000
刑事政策	2	S	25,000
現代社会と少年非行	2	S	25,000
省エネルギー概論	2	S	25,000
資源環境と人間	2	S	25,000
水資源概論	2	S	25,000
ネットショッピングリテラシー	2	S	25,000
楽しいホームページの制作	2	S	25,000
楽しい Web アニメーション	2	S	25,000
PC 実践スキル～Word を使いこなす～	1	S	12,500
情報技術と社会～資格取得も視野に～	2	S	25,000
ビジネス・スキル「聴く力で人間関係を改善する」	2	S	25,000
ビジネス・スキル「状況判断と決定力」	2	S	25,000
ビジネス・スキル「コンフリクト・マネジメント 対立を超えて」	2	S	25,000
ビジネス・スキル「目標設定と継続力」	2	S	25,000
ビジネス・コミュニケーションスキル	2	S	25,000
キャリアデザイン 1	2	S	25,000
キャリアデザイン 2	2	S	25,000
社会人基礎力～仕事をする人から仕事ができる人へ～	2	S	25,000
キャリア・ディベロップメント	2	T	12,000
漢字と心の形	2	T	12,000
笑いと文化	2	S	25,000
民話と県民性	2	S	25,000
昔話と道徳	2	S	25,000
道徳の探求	2	T	12,000
敗者と人生と文学	2	S	25,000
人生の諸相と文学	2	S	25,000
俳句と俳文 I	2	S	25,000
俳句と俳文 II	2	S	25,000
異文化理解入門～現代世界を読み解く～	2	S	25,000
はじめての文化人類学	2	T	12,000
社会学への招待	2	T	12,000
ツーリズムと社会（観光社会学入門）	2	T	12,000
作家と作品	2	S	25,000
遣唐使僧円仁の旅日記	2	S	25,000

日本の民俗と宗教伝統	2	T	12,000
人間と宗教	2	T	12,000
社会と宗教（宗教社会学入門）	2	T	12,000
会社と宗教（経営人類学入門）	2	T	12,000
倫理学	2	S	25,000
明日の一步・松下幸之助に学ぶ人生哲学	2	S	25,000
ブッダの探求	2	T	12,000
ものの見方・考え方	2	S	25,000
生命の倫理	2	S	25,000
日本思想史概説	2	S	25,000
逆境を生きる	2	S	25,000
生老病死と村社会	2	T	12,000
生徒指導・進路指導論	2	T	12,000
学校経営・教育行政論	2	T	12,000
学習活動支援特論	2	T	12,000
学校教育と家庭教育の原理	2	T	12,000
高校生の非行と問題行動	2	T	12,000
障害児の子育てとつけ	2	S	25,000
不登校・ひきこもり特講	1	S	10,000
医学一般	2	S	25,000
武道文化概論	2	T	12,000
子どものスポーツ	2	T	12,000
女子学概論	2	S	25,000
結婚と家族論	2	S	25,000

心理カウンセラーの実務Ⅰ	2	S	25,000
心理カウンセラーの実務Ⅱ	2	S	25,000
教育者のためのカリキュラム論と実践方法	2	T	12,000
文庫で読める教育の名著	1	T	6,000
学校における人権	2	T	12,000
子どもと人権	2	T	12,000
子供のお絵かきと美術絵画様式-自己肯定感を育てる絵画表現-	2	S	25,000
造形要素から捉えた発想方法と鑑賞	1	S	12,500
日本陶磁器（焼き物）の表現と鑑賞	1	S	12,500
はじめて学ぶ社会心理学	2	S	25,000
はじめて学ぶ臨床心理学	2	S	25,000
英語で学ぶ心理学キーワード	2	T	12,000
スクールカウンセラーと学校心理学	2	S	25,000
現代社会と大学	2	T	12,000
高等教育アドミニストレーション概論-大学の教育・経営を学ぶ-	2	S	25,000
教育時事論～教育問題を考える～	2	S	25,000
教師論概説～教育者としての教師論～	2	T	12,000
教育ビジネス概論	2	S	25,000
教育からみる人物史～偉人に学ぶ教育観～	2	S	25,000
スポーツと教育	2	T	12,000
地域と子どもの安全・安心-地域安全マップを作ろう	1	S	12,500
特別研究	2	T	12,000
卒業研究演習	2	GR	25,000
卒業論文	4	G	37,000

※以上は平成 30（2018）年 2 月時点の予定です。変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。  
また、春期のみ/秋期のみ開講の科目もあります。





## 資格案内 (p.24-33)

ページ	目次
p.25	図書館司書
p.26	学芸員
p.27	社会教育主事 (任用資格)
p.28	社会福祉主事 (任用資格)
p.29	学校図書館司書教諭
p.30-31	学校図書館専門職養成プログラム
p.32-33	その他の資格取得支援

### 資格に関するご相談・お問合せ先 (入学支援相談センター)

受付時間 平日 9:00-21:30・土日祝 9:00-17:00 ※受付時間を変更する場合があります

電 話 045-410-0515

メー ル u-info@yashima.ac.jp

所 在 地 〒220-0021 神奈川県横浜市西区桜木町 7-42 八洲学園大学 2 階

(各線 横浜駅徒歩 10 分・横浜市営地下鉄線 高島町駅徒歩 1 分・京浜急行本線 戸部駅徒歩 5 分)

## 図書館司書

図書館司書は、公共図書館、大学図書館、専門図書館や学校図書館（学校司書）等で、資料の選択、発注、受入や、分類、目録作成、貸出業務、読書案内等を行う専門的職員です。本学で図書館司書の全要件科目の単位を修得した方には、「司書資格証明書」を発行いたします（有料）。

学歴要件	最短期間	科目・単位数	注意点
短大卒 大卒	半年間	15 科目 29 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報サービス演習」は先に「図書館概論」「情報サービス論」を、「情報資源組織演習」は先に「情報資源組織論」を、履修すると良い。</li> <li>・他大学等で単位修得できなかった科目のみなど、1科目から履修できる。</li> </ul>

科目名	単 位	形 態	科目 区分	学費 (円)	履修開始時期	履修 方法	図書館法施行規則で 定める科目名
生涯学習論 1 (生涯における学習設計)	2	T	基礎	12,000	4月・10月	必修	生涯学習概論
図書館概論	2	T	基礎	12,000	4月・10月	必修	図書館概論
図書館制度・経営論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	図書館制度・経営論
図書館情報技術論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	図書館情報技術論
図書館サービス概論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	図書館サービス概論
情報サービス論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	情報サービス論
児童サービス論	2	T	専門	12,000	4月・10月	選択 必修	児童サービス論
	2	S	専門	25,000	4月・10月		
情報サービス演習 1	2	S	専門	25,000	4月・7月・ 10月・1月	4単位 必修	情報サービス演習
情報サービス演習 2	2	S	専門	25,000			
図書館情報資源概論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	図書館情報資源概論
情報資源組織論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	情報資源組織論
情報資源組織演習 1	2	S	専門	25,000	4月・7月・ 10月・1月	4単位 必修	情報資源組織演習
情報資源組織演習 2	2	S	専門	25,000			
図書館サービス特論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	図書館サービス特論
図書・図書館史	1	T	基礎	6,000	4月・10月	必修	図書・図書館史

※T：テキスト履修、S：スクーリング履修

## 学芸員

学芸員は、総合博物館、科学博物館、歴史博物館、美術館、動物園、水族館、植物園等で、博物館資料の収集、保管、展示、調査研究その他関連する業務を行う専門的職員です。学芸員資格を取得するだけでなく、就職を希望する施設に応じた専門知識を身につけると良いでしょう。本学で学芸員の全要件科目の単位を修得した方には、「学芸員資格証明書」を発行いたします（有料）。

学歴要件	最短期間	科目・単位数	注意点
学士 (大卒) 以上	1年間	9科目 19単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「博物館実習」は、実習以外の8科目16単位を本学で修得後でないと履修できない。</li> <li>・「博物館実習」以外は、他大学等で単位修得できなかった科目のみなど、1科目から履修できる。</li> <li>・第1学期（4月入学）または第3学期（10月入学）から学習を開始できる。</li> </ul>

科目名	単 位	形 態	科目 区分	学費 (円)	履修開始 時期	履修 方法	博物館法施行規則で定め る科目名
生涯学習論1 (生涯における学習設計)	2	T	基礎	12,000	4月・10月	必修	生涯学習概論
博物館概論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	博物館概論
博物館経営論	2	S	専門	25,000	4月・10月	必修	博物館経営論
博物館資料論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	博物館資料論
博物館資料保存論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	博物館資料保存論
博物館展示論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	博物館展示論
博物館教育論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	博物館教育論
博物館情報・メディア論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	博物館情報・メディア論
博物館実習	3	RS	専門	37,500	4月・10月	必修	博物館実習

※T：テキスト履修、S：スクーリング履修、RS：レポートスクーリング履修

## 社会教育主事（任用資格）

社会教育主事は、教育委員会の事務局等で、社会教育行政の企画・実施、専門的技術的助言、自主的な学習活動の側面的援助、地域の生涯学習を推進するコーディネーター等を行う専門的職員です。社会教育関係の施設職員、指導員、生涯学習アドバイザー等で活躍する際やにも有利な資格（任用資格）です。

学歴要件	最短期間	科目・単位数	注意点
短大卒以上	1年間	13科目 24単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の職務経験が必要（詳細は文部科学省サイト）。</li> <li>・他大学等で単位修得できなかった科目のみなど、1科目から履修できる。</li> </ul>

科目名	単 位	形 態	科目 区分	学費 (円)	履修開始 時期	履修方法	社会教育主事講習等 規程で定める科目名
生涯学習論 1 (生涯における学習設計)	2	T	基礎	12,000	4月・10月	4単位 必修	生涯学習概論
生涯学習論 2 (生涯学習の支援・推進)	2	T	基礎	12,000	4月・10月		
社会教育計画 1	2	T	専門	12,000	4月・10月	4単位 必修	社会教育計画
社会教育計画 2	2	T	専門	12,000	4月・10月		
社会教育学新構想（演習）	2	S	専門	25,000	10月	演習 4単位 または課題	社会教育演習
社会教育学研究法（演習）	2	S	専門	25,000	4月		
社会教育課題研究 1	2	T	専門	12,000	4月・10月	研究 4単位 必修	社会教育課題研究
社会教育課題研究 2	2	T	専門	12,000	4月・10月		
変わり続ける社会と学習の支援	2	T	専門	12,000	4月・10月	計 12 単位 以上 必修	社会教育特講 1（現 代社会と社会教育）
社会教育施設と事業	2	T	基礎	12,000	4月		社会教育特講 2（社 会教育活動・事業・施 設）
生涯学習の方法	2	T	基礎	12,000	4月		
地域学習支援情報の収集・提供	1	T	専門	6,000	7月		
学習成果の活用と地域学習支援 情報の提供	1	T	専門	6,000	1月		
学校、家庭、地域の連携協力論	2	T	専門	12,000	4月・10月		
読み聞かせと生涯学習	2	S	専門	25,000	4月または 10月		

※T：テキスト履修、S：スクーリング履修

## 社会福祉主事（任用資格）

社会福祉主事は、福祉事務所現業員として任用される者に要求される資格（任用資格）で、社会福祉施設職員等の資格に準用されています。社会福祉各法に定める援護または更生の措置に関する事務を行うために、福祉事務所には必置義務があります（福祉事務所のない町村は任意設置）。具体的には、福祉事務所の現業員、査察指導員、老人福祉指導主事、家庭児童福祉主事、家庭相談員、母子相談員、各種相談所の知的障害者福祉司、身体障害者福祉司、児童福祉司、社会福祉施設長、生活指導員等があります。

科目・単位数	注意点
3科目6単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正科生として入学した大学で3科目6単位以上を修得し卒業する（最終学歴が短大卒以上の方も、本学を卒業する必要がある）。</li> <li>・第1学期（4月入学）または第3学期（10月入学）から学習を開始できる。</li> </ul>

科目名	単位	形態	科目区分	学費(円)	履修開始時期	履修方法	厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目
医学一般	2	S	専門	25,000	10月	3科目以上を選択履修 ※民法は2科目で1科目分	医学一般
倫理学	2	S	専門	25,000	4月		倫理学
「学び」と「教え」のこれまでとこれから	2	T	専門	12,000	4月・10月		教育学
経済学入門	2	S	基礎	25,000	4月・10月		経済学
法学概論	2	S	基礎	25,000	4月		法学
民法1（総則・物権）	2	S	専門	25,000	4月		民法
民法2（債権法）	2	S	専門	25,000	10月		
行政法	2	T	専門	12,000	10月		行政法

※T：テキスト履修、S：スクーリング履修

## 学校図書館司書教諭

学校図書館司書教諭は、教員として学校図書館業務を担当する際に必要な国家資格です。すでに教員免許状取得済、もしくは取得予定の方が対象です。なお、教員ではなく学校図書館の専門職員として雇用される「学校司書」とは異なります。

学歴要件	最短期間	科目・単位数	注意点
短大卒以上 + 教員免許状	半年間	5 科目 10 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資格取得のためには教員免許状が必要。</li> <li>・ 他大学等で単位修得できなかった科目のみなど、1 科目から履修できる。</li> <li>・ 「司書教諭講習修了証書」交付をもって正式に資格取得となる。</li> <li>・ 第 1 学期（4 月入学）または第 3 学期（10 月入学）から学習を開始できる。</li> </ul>

科目名	単 位	形 態	科目 区分	学費 (円)	履修開始 時期	履修 方法	学校図書館司書教諭講習規 程で定める科目名
学校経営と学校図書館	2	T	専門	12,000	4 月・10 月	選択	学校経営と学校図書館
	2	S	専門	25,000	4 月・10 月	必修	
学校図書館メディアの構成	2	T	専門	12,000	4 月・10 月	必修	学校図書館メディアの構成
学習指導と学校図書館	2	T	専門	12,000	4 月・10 月	必修	学習指導と学校図書館
読書と豊かな人間性	2	T	専門	12,000	4 月・10 月	必修	読書と豊かな人間性
情報メディアの活用	2	T	専門	12,000	4 月・10 月	必修	情報メディアの活用

※T：テキスト履修、S：スクーリング履修

### 「司書教諭講習修了証書」について

5 科目 10 単位修得後、本学から東京学芸大学を通して文部科学省へ申請し、「司書教諭講習修了証書」が交付されて始めて有資格者となります。申請期間は毎年 1 回（7 月～8 月頃）のみのため、学習を終了した時期により、修了証書交付までの期間が異なります。申請方法などは入学後にご案内します。なお、修了証書交付までの期間は、本学発行の「学校図書館司書教諭資格科目単位修得・成績証明書」により資格取得要件を満たしていることを証明できます。

学習を終了した時期	申請時期	修了証書交付時期
春期末（9 月）	翌年 7 月～8 月頃	翌々年 2 月～3 月頃
秋期末（3 月）	同年 7 月～8 月頃	翌年 2 月～3 月頃

# 学校図書館専門職養成プログラム

学校司書としてスキルアップを目指したい方、学校図書館への就職を考えており学校図書館に関する基礎的な知識を学びたい方、教員・ボランティア等の立場から学校図書館の現状や課題について学びたい方、学校教育全般に関心のある方におすすめです。本学で各プログラムの全要件科目の単位を修得した方には、修了証を発行いたします（有料）。

## 基礎プログラム

文部科学省が定める「学校司書のモデルカリキュラム」に対応したプログラムです。図書館司書資格をベースに学ぶため、図書館司書資格取得後の履修を強く推奨しますが、本プログラムのみ履修も可能です。

### 【基礎プログラムの目標】

学校図書館専門職として、以下の知識・技能を持った人材の育成を目標とします。

- (1) 学校図書館の運営・管理・サービスに必要な基礎的な知識、技能を有していること
- (2) 児童生徒に対する教育支援に必要な基礎的な知識、技能を有していること
- (3) 他の教職員と協働しながら、学校図書館運営を行おうとする意欲を持っていること

学歴要件	最短期間	科目・単位数	注意点
短大卒 大卒	半年間	13 科目 24 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・☆は図書館司書科目と共通。ただし平成 29（2017）年度までの科目や他大学の科目との読替ができない科目もあるので注意（詳細問合せ）。</li> <li>・★は学校図書館司書教諭科目と共通。読替可。</li> </ul>

科目名	単 位	形 態	科目 区分	学費 (円)	履修開始 時期	履修 方法	モデルカリキュラムに おける科目名
学校経営と学校図書館★	2	T	専門	12,000	4月・10月	選択	学校図書館概論
	2	S	専門	25,000	4月・10月	必修	
図書館情報技術論☆	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	図書館情報技術論
図書館情報資源概論☆	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	図書館情報資源概論
情報資源組織論☆	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	情報資源組織論
情報資源組織演習 1 ☆	2	S	専門	25,000	4月・7月・ 10月・1月	4 単位	情報資源組織演習
情報資源組織演習 2 ☆	2	S	専門	25,000		必修	
図書館サービス特論☆	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	学校図書館サービス論
学校図書館情報サービス演習	2	S	専門	25,000	4月・10月	必修	学校図書館情報サービス論
学校教育概論(教育原理・教職論)	2	S	基礎	25,000	4月・10月	4 単位 必修	学校教育概論
学校教育概論(教育心理)	1	S	基礎	12,500	4月・10月		
学校教育概論(教育課程)	1	S	基礎	12,500	4月・10月		
学習指導と学校図書館★	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	学習指導と学校図書館
読書と豊かな人間性★	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	読書と豊かな人間性

※T：テキスト履修、S：スクーリング履修

## 応用プログラム

「学校図書館専門職養成 基礎プログラム」で身につけた知識・技能を基礎とし、学校図書館専門職の立場から学校教育の発展に貢献し、自らの実践や研究を学校内外に発信することができる、高い専門性を持った人材の育成を目指します。「学校図書館専門職養成 基礎プログラム」修了者を主な対象としますが、自身の関心に合わせて1科目からでも履修できます（科目によっては履修条件が定められている場合があります）。

### 【応用プログラムの目標】

学校図書館専門職養成 基礎プログラムで習得した知識、技能に加え、学校図書館専門職として、以下の知識、技能を兼ね備えた人材の育成を目標とします。

- (1) 児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、学校教育の充実に貢献し得る専門的知識、技能を有していること
- (2) 学校における図書館活用教育、読書教育の充実に貢献しうる専門的知識、技能を有していること
- (3) 学校図書館が抱える課題について深い問題意識を持ち、その課題に対して論理的、実践的に解決し得る知識、技能を有していること
- (4) 学校図書館の発展のために積極的に行動する意欲を持ち、自らの実践を学校内外に発信するための知識、技能を有していること

学歴要件	最短期間	科目・単位数	注意点
短大卒、大卒	半年間	10科目 20単位以上※	基礎プログラム修了後に修了した方のみ修了証が発行される。

※必修5科目 10単位 + 選択必修2科目 4単位 + 選択3科目 6単位以上 = 計10科目 20単位以上

科目名	単 位	形 態	科目 区分	学費 (円)	履修開始 時期	履修 方法	備考
教育者のためのカリキュラム論と実践方法	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	学校教育 に関する 科目
はじめて学ぶ臨床心理学	2	S	専門	25,000	4月・10月	必修	
生徒指導・進路指導論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	
情報と法	2	S	専門	25,000	4月	選択	
ケーススタディ著作権法	2	S	専門	25,000	10月	必修	
障害児の理解と支援	2	S	専門	25,000	4月	選択	
情報アクセシビリティとバリアフリーデザイン	2	S	専門	25,000	4月	必修	
教師論概説～教育者としての教師論～	2	T	専門	12,000	4月・10月	選択	
学校経営・教育行政論	2	T	専門	12,000	4月・10月	選択	
学校における人権	2	T	専門	12,000	4月・10月	選択	
学習活動支援特論	2	S	専門	25,000	4月・10月	必修	学校図書 館に関する 科目
読書教育特論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	
読み聞かせと生涯学習	2	S	専門	25,000	4月・10月	選択	
学校、家庭、地域の連携協力論	2	T	専門	12,000	4月・10月	選択	
児童資料特論	2	T	専門	12,000	4月・10月	選択	
特別研究（学校図書館学Ⅰ）	2	T	専門	12,000	10月	選択	
特別研究（学校図書館学Ⅱ）	2	T	専門	12,000	4月	選択	

※T：テキスト履修、S：スクーリング履修



## その他の資格取得支援

### 税理士（受験資格取得）

財務諸表等の基礎知識を高めるとともに、税法3科目（法人税、消費税、相続税）全てを網羅しています。企業等の経理や総務で働く方のスキルアップも目的とし、会計のエキスパートの輩出を目指します。

科目名	単位	形態	科目区分	学費（円）	履修開始時期	受験資格
経済学入門	2	S	基礎	25,000	4月・10月	1科目 2単位以上 修得
財政学入門	2	S	専門	25,000	4月・10月	
法人税法入門	2	T	専門	12,000	4月・10月	
所得税法入門	2	T	専門	12,000	4月・10月	
消費税法	2	T	専門	12,000	7月	
相続税法	2	T	専門	12,000	10月	
法学概論	2	S	基礎	25,000	4月	
民法1（総則・物権）	2	S	専門	25,000	4月	
民法2（債権法）	2	S	専門	25,000	10月	
労働法	2	T	専門	12,000	1月	
商法	2	T	専門	12,000	7月	

※T：テキスト履修、S：スクーリング履修（以下同）

### 行政書士

企業法務や相続手続きなど実務経験豊富な実務家教員が担当し、実例から分かりやすく学べます。リスクマネジメントの養成、ビジネスパーソンのスキルアップも目的とします。

科目名	単位	形態	科目区分	学費（円）	履修開始時期
日本国憲法と現代社会	2	S	基礎	25,000	4月
法学概論	2	S	専門	25,000	4月
民法1（総則・物権）	2	S	専門	25,000	4月
民法2（債権法）	2	S	専門	25,000	10月
家族と法	2	S	専門	25,000	10月
行政法	2	T	専門	12,000	10月
商法	2	T	専門	12,000	7月
情報と法	2	S	専門	25,000	4月

### キャリアコンサルタント

キャリアコンサルタント（国家資格）の学習に役立つ科目です。

科目名	単位	形態	科目区分	学費（円）	履修開始時期
社会保険労務（実務）	2	T	専門	12,000	4月
キャリア・ディベロップメント	2	T	専門	12,000	10月

## 簿記

日商簿記 2 級～3 級レベルの学習に役立つ科目です。

科目名	単位	形態	科目区分	学費 (円)	履修開始時期
はじめての簿記	1	S	専門	12,500	4 月または 7 月
簿記と経営	2	T	専門	12,000	4 月・10 月
原価計算入門	2	T	専門	12,000	4 月・10 月
経理実務入門	2	T	専門	12,000	10 月

## 公務員試験

必須の「法学概論」「民法」「行政法」「日本国憲法」を網羅しています。職種により労働法と商法が必要です。

科目名	単位	形態	科目区分	学費 (円)	履修開始時期
日本国憲法と現代社会	2	S	基礎	25,000	4 月
法学概論	2	S	専門	25,000	4 月
民法 1 (総則・物権)	2	S	専門	25,000	4 月
民法 2 (債権法)	2	S	専門	25,000	10 月
家族と法	2	S	専門	25,000	10 月
行政法	2	T	専門	12,000	10 月
労働法	2	T	専門	12,000	1 月
商法	2	T	専門	12,000	7 月

## 社会保険労務士

社会保険や年金、企業における労務管理の基礎知識と、労務管理を中心とする実務的な専門知識の習得を目指します。

科目名	単位	形態	科目区分	学費 (円)	履修開始時期
社会保険労務 (入門)	2	T	専門	12,000	10 月
社会保険労務 (実務)	2	T	専門	12,000	4 月
労働法	2	T	専門	12,000	1 月
生産管理	2	T	専門	12,000	10 月

## ビジネス・キャリア検定

ビジネス・キャリア検定 (通称: ビジキャリア検定) は、職務を遂行する上で必要となる知識の習得と実務能力の評価を行うことを目的とした中央職業能力開発協会主催の試験です。

科目名	単位	形態	科目区分	学費 (円)	履修開始時期
社会保険労務 (入門)	2	T	専門	12,000	10 月
社会保険労務 (実務)	2	T	専門	12,000	4 月
キャリア・ディベロップメント	2	T	専門	12,000	10 月
生産管理	2	T	専門	12,000	10 月



お気軽にお問い合わせください

---

## 八洲学園大学 入学支援相談センター

e-mail : u-info@yashima.ac.jp

TEL : 045-410-0515 FAX : 045-324-6961

〒220-0021 神奈川県横浜市西区桜木町 7-42

【受付時間】 平日 9:00~21:30・土日祝 9:00~17:00 (受付時間を変更する場合があります)

<https://www.yashima.ac.jp/univ/>

やしま学園大学



 [https://twitter.com/yashima\\_univ](https://twitter.com/yashima_univ)

 <https://www.facebook.com/yashimagakuenuniv>

(平成 30 (2018) 年 1 月 発行)

(平成 30 (2018) 年 10 月 改訂)